

# 令和3年度 農作物病虫害発生予察9月月報

令和3年(2021年)10月4日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	25.1	25.6	△ 0.5	29.3	30.8	△ 1.5	22.6	21.7	0.9
9.2	25.2	24.9	0.3	30.3	30.2	0.1	21.2	21.0	0.2
9.3	23.8	24.1	△ 0.3	27.6	29.4	△ 1.8	21.4	20.1	1.3
9.4	24.3	23.1	1.2	29.2	28.6	0.6	20.5	19.0	1.5
9.5	24.0	22.1	1.9	29.9	27.6	2.3	18.7	17.8	0.9
9.6	24.4	21.2	3.2	29.8	26.7	3.1	20.5	16.8	3.7
平均・計	24.5	23.5	1.0	29.4	28.9	0.5	20.8	19.4	1.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	116.5	34.3	82.2	9.2	26.7	△ 17.5			
9.2	10.5	31.5	△ 21.0	20.4	26.0	△ 5.6			
9.3	44.0	29.7	14.3	2.4	25.5	△ 23.1			
9.4	59.0	29.0	30.0	21.2	25.5	△ 4.3			
9.5	0.0	28.6	△ 28.6	33.7	25.5	8.2			
9.6	0.0	26.9	△ 26.9	19.0	25.5	△ 6.5			
平均・計	230.0	180.0	50.0	105.9	154.7	△ 48.8			

## II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生品種は収穫済み。中生品種は8月及び9月の降雨により成熟期がやや遅くなったものもあった。晩生品種については成熟期は平年並みの見込み。
- (2) ダイズ : 6月播種のものについては子実肥大期で着莢は平年並。9月降雨により一部で倒伏が発生。  
気温低下が早く、葉の黄化がやや早まる可能性あり。
- (3) カンキツ : 8月・9月の多雨の影響で、果実肥大は平年より大きく、果実品質は糖、酸ともに平年より低く推移している。また、一部の園では、裂果や夏秋枝の発生が見られる。
- (4) ナシ : 8月の多雨・寡日照により、果実肥大は平年並からやや大きめ、糖度はやや低めとなった。春先の低温・降霜の被害が大きかった産地では、アザ果等障害果の発生が多く見られる。
- (5) キャベツ : 8月中旬の長雨によりほ場準備作業が遅れ、定植作業が2週間程度と大幅に遅れる地域もあったが、概ね9月末までには定植作業は終了。
- (6) イチゴ : 定植作業は概ね9月下旬までに終了している。今年の花芽分化状況は、8月中旬の長雨による気温の低下等で、「かおり野」は早いもので8月末に分化が確認されるなど、昨年より10日～2週間程度早く花芽が分化している。また、「紅ほっぺ」や「さちのか」については昨年と同じ時期に花芽が分化している。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2021年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ いもち病 (穂いも (調査ほ場数：中甸74 下旬35))	中甸の巡回調査では、発生ほ場率47.3% (平年16.9%)、発病株率15.9% (平年3.6%)、発病穂率4.2% (平年0.6%)、発病度2.8 (平年0.3) で平年に比べ多かった。一部ほ場で多発生がみられた。下旬の巡回調査では、発生ほ場率62.9% (平年25.4%)、発病株率23.0% (平年7.4%)、発病穂率4.0% (平年1.6%)、発病度2.5 (平年1.3) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚多	231
			中少	462
			計	7,161
紋枯病 (調査ほ場数：中甸76 下旬39)	中甸の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年24.9%)、発病株率7.2% (平年4.9%)、発病度2.9 (平年1.9) で平年に比べやや多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.5% (平年32.1%)、発病株率8.9% (平年6.9%)、発病度3.7 (平年2.6) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中少	462
			計	6,930
			計	7,392
ごま葉枯病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率39.5% (平年24.4%)、発病株率16.6% (平年13.5%)、発病度4.5 (平年3.6) で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率46.2% (平年31.7%)、発病株率27.0% (平年19.4%)、発病度8.4 (平年5.5) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	231
			中少	1,848
			計	4,851
			計	6,930
白葉枯病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.3%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：42)	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.8%)、発病株率0% (平年2.1%)、発病穂率0% (平年0.2%) で平年に比べやや少なかった。	—	—	—
稲こうじ病 (調査ほ場数：中甸39 下旬39)	中甸の巡回調査では、発生ほ場率2.6% (平年6.4%)、発病株率0.1% (平年0.6%) で平年に比べやや少なかった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率43.6% (平年18.9%)、発病株率3.9% (平年2.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚多	231
			中少	1,848
			計	1,617
			計	3,927

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬76、 下旬39)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年40.2%)、10株当たり虫数0頭(平 年21.4頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭(平 年1.3頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年36.6%)、10株当たり虫数0頭(平 年29.5頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭(平 年0.4頭)で平年に比べ少なかった。 9月27日美祢市の巡回調査ほ場において 番外で成虫1頭が確認された。	—	—
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.2% (平年38.4%)、被害株率0.7%(平 年14.0%)、被害葉率0.0%(平 年1.3%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.8% (平年40.9%)、被害株率6.2%、(平 年17.8%)、被害葉率0.2%(平 年1.9%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 2,772
イネクロカメム シ	中旬の巡回調査では発生ほ場率1.3%(平 年1.2%)、25株虫数0.0頭(平 年0.0頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6% (平年0.3%)、25株虫数0.0頭(平 年0.0頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 231
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬21)	中旬のすくい取り調査における発生ほ場 率59.4%(平年46.4%)、20回すくい取 り虫数1.8頭(平年1.0頭)で平年に比べ やや多かった。主要種はイネカメムシで あった。	県内全域	多 231 中 924 少 3,234 計 4,389
ニカメイガ、イネ ヨトウ (調査ほ場数：中旬76、 下旬39)	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認 められず平年並みであった。	—	—
イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ (調査ほ場数：21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年31.0%)、発病株率49.5% (平年20.4%)、発病度12.4 (平年5.2) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 580
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年35.7%)、発病株率1.5% (平年23.7%)、発病度0.4 (平年6.1) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 124
立枯性病害(白絹病、黒根腐病)	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
葉枯性病害(褐色輪紋病、斑点病)	下旬の巡回調査では、褐色輪紋病の発生ほ場率76.2% (前年4.8%)、発病株率53.7% (前年4.8%)、発病度13.6 (前年1.2) であった。	県内全域	少 662
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年49.0%)、1a 当たり白変か所数0.6か所(平年1.4か所)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数1.2頭(平年2.2頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年30.0%)、1a 当たり白変か所数0.7か所(平年1.0か所)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数0.2頭(平年1.0頭)で平年並みであった。 齢期は若中齢が主体であった。	県内全域	中 41 少 497 計 538
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年59.0%)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数0.2頭(平年0.5頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.7% (平年62.4%)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数0.7頭(平年0.7頭)で平年並みであった。	県内全域	中 290 少 455 計 745
サヤムシガ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、25株当たり被害か所数は0 (平年0.1) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年0.5%)、25株当たり被害か所数は0.1 (平年0.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 83
ダイズサヤタマバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年1.9%)、被害発率0.4% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 290

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ ウワバ類等のチョ ウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率90.5% (平成77.1%)、1㎡当たり虫数1.3頭(平成 2.2頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平成64.8%)、1㎡当たり虫数0.3頭(平成 0.9頭)で平成に比べやや少なかった。 主要種はウワバ類であった。	県内全域	甚	41
			中	331
			少	414
			計	786
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平成29.1%)、10葉当たり虫数4.1頭 (平成8.0頭)で平成並みであった。	県内全域	中	124
			少	124
			計	248
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率19.1% (平成0.8%)、被害度4.1(平成0.2)で 平成に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平成0%)、被害度1.2(平成0)で平成 に比べ多かった。	県内全域	多	83
			中	41
			少	41
			計	165
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平成23.3%)、1㎡当たり虫数0.1頭(平成 0.1頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 成9.4%)、1㎡当たり虫数0頭(平成0.0頭) で平成に比べ少なかった。	県内全域	中	41
			少	83
			計	124
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平成27.0%)、被害株率1.9%(平成 6.0%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 成7.1%)、被害株率0%(平成0.8%)で平成 に比べやや少なかった。	県内全域	中	41
			少	41
			計	82

## 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平成9.5%)、発病果率1.1%(平成 0.8%)、発病度0.3(平成0.4)で平成並み であった。	県内全域	少	115
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率89.5% (平成91.0%)、発病果率27.1%(平成 34.2%)、発病度5.4(平成9.2)で平成に比 べやや少なかった。	県内全域	中	172
			少	805
			計	977
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平成18.0%)、寄生葉率0.6%(平成 2.9%)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	少	115
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 成2.0%)、被害果率0%(平成0.2%)で平 成並みであった。	—	—	—

2021年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (前年0%)、寄生新梢率5.7% (前年0%) であった。	県内全域	甚	57
			多	57
			中	57
			計	171
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0.5%) で平年並みであった。	—	—	
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	57
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年29.5%)、寄生果率2.2% (平年1.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	230
			少	172
			計	402
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年16.0%)、被害果率0% (平年0.5%) で平年に比べ少なかった。	—	—	
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀およびゴールド 二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年31.5%)、発病葉率0% (平年0.0%)、発病新梢率0.1% (平年4.8%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	10
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年12.1%)、発病葉率0.8% (平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	66
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%)、発病葉率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年22.0%)、寄生葉率0% (平年2.8%) で平年に比べ少なかった。	—	—	
ナシヒメシクイ	萩市小川におけるナシヒメシクイのフェロモントラップによる9月の誘殺数は、14頭 (平年32頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—	
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年12.5%)、寄生葉率0.3% (平年0.8%) で平年並みであった。	県内全域	少	33
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	予察灯 (県内5か所、8月26日～9月25日合計) における誘殺数は259頭 (平年315頭) で平年並みであった。	県内全域	—	

## 3 野菜

2021年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:6) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年8.0%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 29
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年5.2%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.0頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 29
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.8%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年29.1%)、寄生株率4.3% (平年1.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 14 少 29 計 43
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.5%) 寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.0%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年2.7%)、寄生株率0.3% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 14
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年19.2%)、寄生株率4.3% (平年1.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 58
イチゴ (調査ほ場数:15) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年11.0%)、発病株率0.8% (平年2.0%)、発病葉率0.3% (平年0.8%) で平年並みであった。	県内全域	少 5
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0%)、発病株率0% (前年0%) であった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年26.4%)、寄生株率4.0% (平年4.6%) で平年並みであった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 25
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年11.6%)、寄生株率0.4% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少 15
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率46.7% (平年17.5%)、寄生株率8.4% (平年5.1%) で平年に比べやや多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	中 5 少 30 計 35

2021年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
イチゴ コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年12.6%)、寄生株率0.8% (平年3.0%) で平年並みであった。	県内全域	少 15																								
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年0%) 寄生株率0.8% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5																								
シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—																								
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる9月の誘殺数は、439頭(平年309頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—																								
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、2,633頭(平年3,499頭)で平年並みであった。 県内他地点のフェロモントラップによる8月21日～9月20日の誘殺数は、下記のとおり。  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>182</td> <td>3,888</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>727</td> <td>1,005</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>141</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,362</td> <td>1,915</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>2,406</td> <td>2,236</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※8月21日～9月20日の合計</td> </tr> </tbody> </table>	フェロモントラップでの誘殺数			地点	本年	平年	周南市熊毛	182	3,888	山口市阿東	727	1,005	萩市明木	141	261	下関市清末	1,362	1,915	柳井市伊陸	2,406	2,236	※8月21日～9月20日の合計			県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数																											
地点	本年	平年																									
周南市熊毛	182	3,888																									
山口市阿東	727	1,005																									
萩市明木	141	261																									
下関市清末	1,362	1,915																									
柳井市伊陸	2,406	2,236																									
※8月21日～9月20日の合計																											
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、25頭(平年96.1頭)で平年並みであった。	県内全域	—																								
シロイチモジヨ トウ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、26頭(平年69.5頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																								
コナガ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、9頭(平年10.3頭)で平年並みであった。	県内全域	—																								

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所  
 TEL (083)927-4006  
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp